生涯の経済と金融と投資の図表

LONGWAVE group

夏

季節が変わるサイン
- 景気後退
- 金利ピーク
- 弱気市場最低値-1982年8月12日　ダウ平均株価777
- 消費者物価指数ピーク　・1980年1月-金1オンス$850

1980-82

夏の戦争-1周期目-1812年戦争
2周期目-南北戦争1860年-1865年
3周期目-第一次世界大戦1914年-1918年
4周期目-ベトナム戦争1962年-1973年
貨幣供給が大量に増加され、高率のインフレがおこり、夏の終わりにピークを迎える

- 金価格は夏の終わりに最高値に達する
- 金利も急激に上がり、夏の終わりにはピークになる
- 株式市場は窮迫の中、弱気市場で低値で夏の終わりを迎える

秋

- 有り余るほどの現金
- インフレは抑制される
- 金塊と金株は弱気市場に入り、秋の終わりには弱気市場で低値を示す
- 株は圧倒的な強気市場-多大な勢い
- 不動産価格も更に上昇する思惑のもと急上昇し、秋の終盤にはピークになる
- 秋の終盤、負債がけたはずれに大きくなる
- 株価や不動産の値上がりと充実した雇用により、消費者信頼度は最高レベルになる

季節が変わるサイン
- 強気市場最高値-2000年1月15日　ダウ平均株価11,750
- 消費者信頼度のピーク
- 金価格、弱気市場最低値　1999年７月-1オンス$252

2000

- 信用貸しの危機、絶望的になる
- 重大な現金不足がおこる
- 銀行や信託銀行や保険会社が経営困難に陥る
- 前例のない倒産-個人･企業･政府
- 貸し渋りにより金利が上昇する
- 国際金融危機　1931年-1934年
- 金融経済危機の中、金塊と金価格は上昇する
- 年金危機-受給できるはずの年金が受給できない

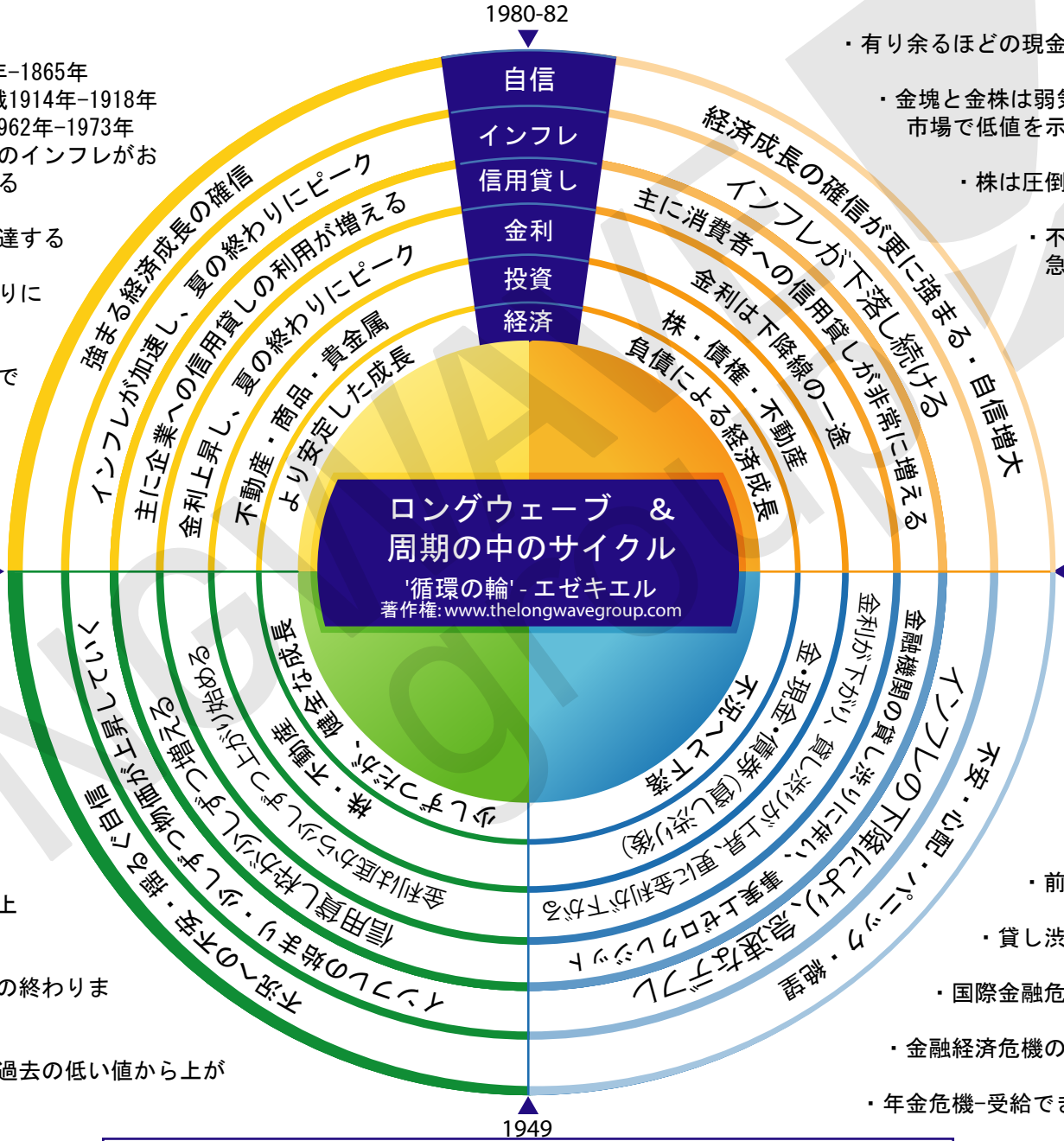
1966

季節が変わるサイン
- 強気市場最高値-1996年2月9日　ダウ平均株価995
- 金１オンス$35

- 商取引や雇用が増え始める
- 経済が成長すると伴い消費者信頼度が高まる
- 低かった消費者物価が少しずつ上がり始める
- 株価が着実に上昇していき、春の終わりまでにピークを迎える
- 信用貸しの拡張に伴い、金利が過去の低い値から上がり始める

春

1949

季節が変わるサイン
- 金利最低値
- 負債レベル底辺に達する
- 弱気市場最低値-1949年6月13日　ダウ平均株価161　金1オンス$35

冬